

## 調 査 研 究 結 果

|                  | 種目   | 発行者      | 教科書名   |
|------------------|--|----------|--|
| 観<br>点           | 音 楽  | 教育出版株式会社 | 小学音楽 おんがくのおくりもの 1<br>小学音楽 音楽のおくりもの 2<br>小学音楽 音楽のおくりもの 3<br>小学音楽 音楽のおくりもの 4<br>小学音楽 音楽のおくりもの 5<br>小学音楽 音楽のおくりもの 6 |
| 取<br>扱<br>内<br>容 | <p>○ 歌唱については、下記のような学習活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することができるようになっている。</p> <p>第1, 2学年～ 遊びながら体を動かして歌ったり、歌詞の表す情景を想像して歌ったり、旋律の流れを感じて歌ったりする活動。</p> <p>第3, 4学年～ 手合せをしながらリズムにのって歌ったり、歌詞や旋律の特徴を生かした表現を工夫して歌ったりする活動。</p> <p>第5, 6学年～ 楽曲の特徴を捉えて歌ったり、旋律を組み合わせることで声の響きを楽しんだり、自分たちの思いや意図を生かした表現を工夫して歌ったりする活動。</p> <p>○ 器楽については、下記のような学習活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することができるようになっている。</p> <p>第1, 2学年～ 手や打楽器を用いて歌詞に合わせてリズムを打ったり、音色に気を付けて簡単なリズムを打ったり、くり返しを生かして演奏の工夫をしたりする活動。</p> <p>第3, 4学年～ パートの役割や曲の特徴を生かして演奏したり、音の重なりやリズムを選んで演奏したり、楽器の音色に気を付けて演奏したりする活動。</p> <p>第5, 6学年～ 旋律や響きの変化を捉えて演奏したり、自分たちの思いや意図を生かして演奏を工夫したり、楽器の音色を組み合わせることで表現効果を工夫したりする活動。</p> <p>○ 音楽づくりについては、下記のような学習活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することができるようになっている。</p> <p>第1, 2学年～ 言葉を基につくったリズムをつなげて遊んだり、音の重なりやリズムを選んで演奏したり、お祭りの太鼓のリズムをつくったりする活動。</p> <p>第3, 4学年～ いろいろな楽器の音の響きや組み合わせを楽しんだり、音の動き方を生かして旋律をつくったり、役割を基に音楽をつくって即興的に表現したりする活動。</p> <p>第5, 6学年～ 和音に含まれる音を使って旋律をつくったり、循環コードをもとにアドリブで遊んだり、曲を特徴付けている音型を基に音楽をつくったりする活動。</p> <p>○ 鑑賞については、下記のような学習活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することができるようになっている。</p> <p>第1, 2学年～ 音楽に合わせて体を動かしながら聴いたり、楽器の音に気を付けて聴いたり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら聴いたりする活動。</p> <p>第3, 4学年～ 曲想とその変化に気を付けながら聴いたり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら聴いたりする活動。</p> <p>第5, 6学年～ 曲や演奏のよさなどを見いだしながら聴いたり、演奏者の意図を感じ取って聴いたり、曲想とその変化と音楽の構造との関わりに気を付けて聴いたりする活動。</p> <p>○ 共通事項については、下記のような学習活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することができるようになっている。</p> <p>第1, 2学年～ 音の出し方を工夫していろいろな音を見つけたり、楽曲の曲調を感じ取って聴いたりする活動。</p> <p>第3, 4学年～ 拍の流れにのって歌や遊びを楽しんだり、曲の流れを感じ取って聴いたりする活動。</p> |          |  |

|                     |  |
|---------------------|--|
|                     | <p>第5, 6学年～ 楽曲のおもしろさを感じ取って聴いたり、旋律や響きの変化を捉えて演奏したりする活動。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第1, 2学年では、「みんなで合わせて」において、使う楽器の音の出し方を工夫して合奏する活動などが取り上げられている。第3, 4学年では、「わたしたちの表現」において、楽器の音や声の響きを聴き合いながら演奏する活動などが取り上げられている。第5, 6学年では、「音楽に思いをこめて」において、楽曲に込められた思いを感じ取って、みんなの歌声で表す活動などが取り上げられている。</p>  |
| <p>内容の程度・排列、分量等</p> | <p>○ 内容の構成・排列については、第1, 2学年では、曲の特徴に合わせて体を動かす学習の後に、曲の楽しさについて友だちと交流する学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるようになっている。</p> <p>第3, 4学年では、旋律の流れに合わせて体を動かす学習の後に、指揮の動きをしながら聴き取ったことを書く学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるようになっている。</p> <p>また、4年歌唱、鑑賞教材に「ソーラン節」、歌唱「札幌の空」が取り上げられている。</p> <p>第5, 6学年では、曲の特徴に着目して聴く学習の後に、楽器の関わりや曲の特徴に気を付けて聴いたり、曲のよさなどを交流したりする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習ができるようになっている。</p> <p>また、5年鑑賞教材に「ソーラン節」「江差追分」が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 歌唱の教材数は36、器楽の教材数は7、音楽づくりの教材は13、鑑賞の教材数は14であり、総ページ数は76ページで、前回より約6%増となっている。<br/>(判型はAB判)</p> <p>第2学年～ 歌唱の教材数は34、器楽の教材数は10、音楽づくりの教材は9、鑑賞の教材数は18であり、総ページ数は76ページで、前回より約6%増となっている。<br/>(判型はAB判)</p> <p>第3学年～ 歌唱の教材数は29、器楽の教材数は19、音楽づくりの教材は10、鑑賞の教材数は19であり、総ページ数は78ページで、前回より約5%増となっている。<br/>(判型はA4変型判)</p> <p>第4学年～ 歌唱の教材数は28、器楽の教材数は10、音楽づくりの教材は5、鑑賞の教材数は42であり、総ページ数は78ページで、前回と同様となっている。<br/>(判型はA4変型判)</p> <p>第5学年～ 歌唱の教材数は26、器楽の教材数は12、音楽づくりの教材は4、鑑賞の教材数は67であり、総ページ数は78ページで、前回と同様となっている。<br/>(判型はA4変型判)</p> <p>第6学年～ 歌唱の教材数は28、器楽の教材数は10、音楽づくりの教材は4、鑑賞の教材数は7であり、総ページ数は78ページで、前回と同様となっている。<br/>(判型はA4変型判)</p> |
| <p>使用上の配慮等</p>      | <p>○ 見開きごとの「学習のめあて」(全学年)や、教材曲や学習活動に即した児童への解説を示す(全学年)など、意欲的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○ 「『音楽のもと』まとめ」等の巻末資料(全学年)や、学び方を示唆する「学びナビ」(全学年)を掲載したりして、主体的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○ 折込ページ(全学年)やカラーユニバーサルデザインを取り入れるなど、便利に活用できるよう工夫されている。</p>  |
| <p>その他</p>          |  |

## 調 査 研 究 結 果

|                  | 種目  | 発行者        | 教科書名   |
|------------------|---|------------|--|
| 観<br>点           | 音 楽   | 株式会社 教育芸術社 | 小学生のおんがく 1<br>小学生の音楽 2<br>小学生の音楽 3<br>小学生の音楽 4<br>小学生の音楽 5<br>小学生の音楽 6 |
| 取<br>扱<br>内<br>容 | <p>○ 歌唱については、下記のような学習活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することができるようになっている。</p> <p>第1, 2学年～ 遊びながら体を動かして歌ったり、歌詞の表す情景を想像しながら歌ったり、歌声を聴き合いながらみんなで合わせて歌ったりする活動。</p> <p>第3, 4学年～ 手遊びをしながら拍を感じて歌ったり、旋律の特徴を生かした表現を工夫して歌ったりする活動。</p> <p>第5, 6学年～ 歌声の重なり合う響きを感じ取って歌ったり、歌詞と旋律の特徴を生かした表現を工夫して歌ったり、思いが伝わるように歌ったりする活動。</p> <p>○ 器楽については、下記のような学習活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することができるようになっている。</p> <p>第1, 2学年～ 手や打楽器を用いて歌詞に合わせてリズムを打ったり、いろいろな楽器の音を重ねて演奏したり、曲想を感じ取って工夫して演奏したりする活動。</p> <p>第3, 4学年～ 互いの楽器の音を聴き合って演奏したり、旋律の特徴を生かして演奏したり、音の重なりに気を付けて演奏したりする活動。</p> <p>第5, 6学年～ 自分たちの思いや意図を生かして演奏を工夫したり、和音の響きを感じ取って合奏したり、楽器の音色の特徴を生かして演奏したりする活動。</p> <p>○ 音楽づくりについては、下記のような学習活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することができるようになっている。</p> <p>第1, 2学年～ リズムに合う言葉でリズム遊びをしたり、身の回りの音を声で表して音楽をつくったり、旋律で呼びかけ合ったりする活動。</p> <p>第3, 4学年～ リコーダーを用いてお囃子の旋律をつくったり、くり返しや変化を使ってまとまりのあるリズムをつくったり、打楽器の音を組み合わせる音楽づくりをしたりする活動。</p> <p>第5, 6学年～ 日本の音階を使い旋律をつくったり、音楽の仕組みを生かしてリズムアンサンブルをつくったり、和音に含まれる音を選んで旋律をつくったりする活動。</p> <p>○ 鑑賞については、下記のような学習活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することができるようになっている。</p> <p>第1, 2学年～ 音楽に合わせて体を動かしながら聴いたり、楽器の音に気を付けて聴いたり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら聴いたりする活動。</p> <p>第3, 4学年～ 曲想とその変化と音楽の構造との関わりに気を付けて聴いたり、日本の民謡の特徴を感じ取りながら聴いたりする活動。</p> <p>第5, 6学年～ 作詞者、作曲者、演奏者の工夫を見つけて聴いたり、楽器の響きに気を付けてオーケストラの演奏を聴いたり、日本の歌の言葉と旋律の美しさについて感受したことを書いたりする活動。</p> <p>○ 共通事項については、下記のような学習活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することができるようになっている。</p> <p>第1, 2学年～ 様子を思い浮かべて楽曲を聴いたり、歌詞の表す情景を想像しながら歌ったりする活動。</p> <p>第3, 4学年～ 曲の特徴を感じ取って聴いたり、拍の流れや旋律を感じて演奏したりする活動。</p> |            |  |

|                     |  |
|---------------------|--|
|                     | <p>第5, 6学年～ 曲想と歌詞の内容との関わりに気を付けて歌ったり、曲想の変化を味わいながら聴いたりする活動。</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第1, 2学年では、「ドレミであそぼう」において、選んだ音でつくった短い旋律のつなげ方を工夫する活動などが取り上げられている。第3, 4学年では、「いろいろなリズムを感じ取ろう」において、反復や変化を使ったリズムで音楽をつくる活動などが取り上げられている。第5, 6学年では、「いろいろな音色を感じ取ろう」において、声の響きの重なりを生かして音楽をつくる活動などが取り上げられている。</p>   |
| <p>内容の程度・排列、分量等</p> | <p>○ 内容の構成・排列については、第1, 2学年では、リズムに合う言葉でリズム遊びをする学習の後に、太鼓の口唱歌を組み合わせてリズムをつくる学習を取り入れるなど、系統的・発展的に学習できるようになっている。</p> <p>第3, 4学年では、三三七拍子を基にリズムをつくる学習の後に、反復や変化を使ったリズムアンサンブルの学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるようになっている。</p> <p>また、4年鑑賞教材に「アイヌの古式舞踊」が取り上げられている。</p> <p>第5, 6学年では、音楽の仕組みを生かしながら音楽をつくる学習の後に、声の響きの重なりを生かしてボイスアンサンブルをつくる学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習ができるようになっている。</p> <p>また、鑑賞教材に「ソーラン節」（5年）が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>第1学年～ 歌唱の教材数は37、器楽の教材数は15、音楽づくりの教材は8、鑑賞の教材数は11であり、総ページ数は83ページで、前回より約11%増となっている。<br/>(判型はA4変型判)</p> <p>第2学年～ 歌唱の教材数は37、器楽の教材数は15、音楽づくりの教材は8、鑑賞の教材数は17であり、総ページ数は83ページで、前回より約11%増となっている。<br/>(判型はA4変型判)</p> <p>第3学年～ 歌唱の教材数は23、器楽の教材数は27、音楽づくりの教材は6、鑑賞の教材数は22であり、総ページ数は87ページで、前回より約16%増となっている。<br/>(判型はA4変型判)</p> <p>第4学年～ 歌唱の教材数は24、器楽の教材数は14、音楽づくりの教材は6、鑑賞の教材数は66であり、総ページ数は87ページで、前回より約16%増となっている。<br/>(判型はA4変型判)</p> <p>第5学年～ 歌唱の教材数は20、器楽の教材数は9、音楽づくりの教材は2、鑑賞の教材数は28であり、総ページ数は87ページで、前回より約16%増となっている。<br/>(判型はA4変型判)</p> <p>第6学年～ 歌唱の教材数は22、器楽の教材数は8、音楽づくりの教材は2、鑑賞の教材数は19であり、総ページ数は87ページで、前回より約16%増となっている。<br/>(判型はA4変型判)</p> |
| <p>使用上の配慮等</p>      | <p>○ 郷土芸能を受け継いでいる子供の写真(全学年)や、演奏家のメッセージを掲載する(第3～5学年)など、意欲的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○ 巻末に「ふり返りのページ」を掲載したり(全学年)、各ページに学習のねらいや音楽の要素を示したり(全学年)して、主体的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○ 白を基調とした紙面(全学年)やユニバーサルデザインの視点を取り入れるなど、便利に活用できるよう工夫されている。</p>   |
| <p>その他</p>          |  |